

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|--|---------------------|---|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 法人理念を基に、事業所独自の理念を管理者を含めた職員全員で作成されていた。玄関等に掲載され、入居者・ご家族ともがいつでも目にするようになってきている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 管理者を含めた職員全体で合議し、作り上げられたため共有はなされており、その事業所独自の理念を基に日々サービス提供に取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 現在の職員数と入居者の介護度から、地域の行事参加等が難しくなっているため、外出機会が少なくなっている。 | | 事業所の人材採用に関する権限は、法人本部に有り、事業所としては対策が難しい部分ではある。法人本部の今まで以上の理解と、事業所としてはボランティア等の活用などに期待したい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価、外部評価の結果を職員全体が理解し、改善に取り組む姿勢は何えた。特に外部からの意見については、日々の業務の中では見えない部分を気づく機会とし、改善項目に対して前向きに取り組まれている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|---|---|---------------------|---|
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 昨年に比べ運営推進会議の開催頻度を増やし、現在は2ヶ月に1回行われている。利用者家族、地域代表等幅広い分野からの参加もあり、話し合いを行う場が設けられている。 | | 会議内容については、事業所側からの連絡事項のみになってしまうことがある。今後、積極的な意見を募りサービス向上に活かせる様な内容の会議に期待する。 |
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 松本市から派遣される介護相談員が事業所を訪問し、利用者に関わり等を行い、その結果のフィードバックも書面でなされている。 | | フィードバック内容は、事業所にとってプラスの情報だけでなく、マイナス面（改善・向上に向けた指摘）においても行われることが今以上にサービスの質の向上につながるようになるため、相談員からのフィードバックの際、そのような情報が聞き出すことができるよう期待する。 |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 2ヶ月に1回は利用料請求書の郵送と同封で新聞を発行している。その新聞には施設長及び管理者のコメント、写真等による入居者の暮らしぶりについて詳細な報告がなされている。 | | |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族会が年1回開催され、その際に事業所からの報告と共に家族等からの意見を聞く場が設けられている。その際に出た意見等についてはミーティング等で検討がされ、サービスに反映されている。 | | |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 離職者、異動等については非常に少なく、家庭的な雰囲気や大切にケアが実践できている。また、現在育児休業中の職員もおり職員が安心してサービス提供できるような職場となるよう配慮されている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|--|---------------------|---|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>入社後2～3年で実践者研修に法人本部の要請で参加している。また、スタッフの力量に応じて管理者が研修等を選別し参加を促し職員を育てる体制が取られている。</p> | | |
| 11 | 20 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>グループホーム連絡会に参加されていたが、研修会形式で同業者との積極的な意見交換にまでは至っていなかった。</p> | | <p>法人本部の更なる理解を基に研修参加機会を増やし、同業者との意見交換の場の増加を期待する。</p> |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>病状的に他の利用者さんと協調性が持てない場合などの対応についても、家族と相談の上で対応方法を検討しており、積極的に取り組んでいる。</p> | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>生活様式が違い相性も違う方たちと過ごしながら、その人のあった表情・個性をのばそうと努力されている様子がうかがえた。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|---|---------------------|-----------------------------------|
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>一対一、向かい合いの話し合いの中で、利用者の意向の把握に努めている。しかし、一部の場合だけであり事業所全体で行うことが今後の課題である。</p> | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>計画・身体的状況については、家族面会時に説明し了承を得ている。御本人に面会せず帰られる家族には積極的に連絡し了承を得ている努力が伺えた。状況に応じ計画も評価されている。</p> | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>会議時に、項目の検討がなされ状況にあった計画に変更されている。長期的な状態の変化に伴い計画の変更時は、家族にも説明され了承を得ている。</p> | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> | <p>状態報告は利用料納入時、または電話にて報告しているが、状況に応じ入院また福祉施設へ紹介し出来る限り本人・家族の希望に答えようと努力している様子うかがえた。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|---------------------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | 主治医との連携もとりながら、救急時の方法も整えられている。また医療面の内服の管理は工夫を取り入れしっかり内服されている様子である。 | | |
| 19 | 47 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | 状態の変化に伴い在宅に戻られるように支援はするが、なかなか在宅でと考える家族は少なく、医師・施設・家族との話し合いで、方向性を決定している様子がうかがえた。また次の提案もされている。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p> | 聴き方によってはプライバシーを損ねてしまう事にもなるので、感情的にならず柔らかく接する努力をしている。又利用者さん同士の事を気づかれ無いように、職員が気を遣い工夫されていることは大変なことであり感心できた。 | | |
| 21 | 52 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | その日、その習慣を大切に考えている様子が伺えた。利用者主体の時間も配慮されて、柔軟さが伺えた。 | | |

GHつりがね草

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|---|---------------------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 特に献立は無いが、ノートを見て最近作っていないというものを、1回/日買い出しに行く。ジャガイモの皮をむいたり利用者の手伝いも頂きながら調理している。比較的に残飯が少ないということは、しっかり摂取されているということである。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴に関しては入浴時間・回数・1回の時間をかなえてあげたいと強く思われている事がわかったが、人員配置的な問題もあり課題であろう。 | | その人が希望することの中で優先順位を決め、毎回でなくても1週間に1回でも達成することで、利用者さんもスタッフも満足な日を過ごせると思われます。全員は無理でも1日1人から・・・努力を希望します。 |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 3歳の「はな」と言う犬がいるが、話しかけマスコットの存在。犬によって癒され散歩に行くなど、適度な気晴らしに役立っている。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 一人一人の体調に合わせ出来るだけ散歩に出かけて行きたいと思う気持ちが伝わってきた。 | | 介護度の関係、人員の配置の問題など1つ1つ対応でき、家族も交え散歩が出来るくらいに余裕ができることを期待する。 |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 基本的には鍵をかけないで生活している。病状的に理解できない利用者には、必要最低限の範囲で施錠をしている。また、緊急時の対応は合い鍵を利用している。 | | |

GHつりがね草

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|--|--|---------------------|---|
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 2回/年公民館で地域防災訓練に参加している。施設の災害時においても建物の外に「ベル」がついているため、地域の住民は駆けつけていただけている。地域の中にとけ込み協力体制が整えられていることが理解できた。 | | 災害時地域の方に何をどのように、どうするという行動が具体的に明記されたマニュアルがあると協力しやすいと考えられる。 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 暖かい物は暖かく、冷たい物は冷たく、家庭的な料理を工夫されていた。本人に合わせてご飯・お粥・スプーン・箸・お茶・とろみ等利用され、楽しくなじみのある食事を提供されていると感じた。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 廊下2箇所に洗面所・トイレが整備されており、季節感のある飾り物にも配慮されていることが確認できた。建物全体に明るく感じたが、個々のお部屋は多少寒く感じた。エアコンのスイッチの使い方はができるのか多少不安であるため、時間でON・OFFするなどの検討が必要である。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 昔使い慣れた鏡台も設置され個々の部屋作りがされていた。収納も押し入れ2箇所・クローゼット1箇所あり、整理整頓がされていた。個々の家族の写真などもあり工夫がうかがえた。 | | |

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。